

第104期 中間報告書

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

証券コード：5953



Heat in Heart

情熱で拓く。誠実で応える。



 昭和鉄工株式会社
Showa Manufacturing Co.,Ltd.



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2025年9月30日をもちまして、第104期中間期を終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに中間決算の結果につきましてご報告申し上げます。

2025年12月

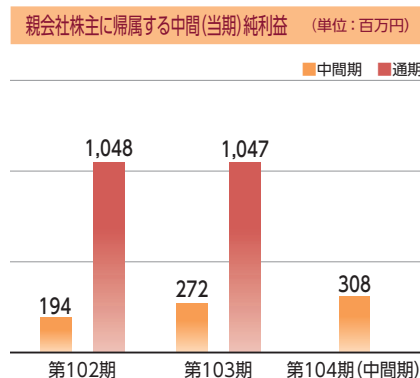
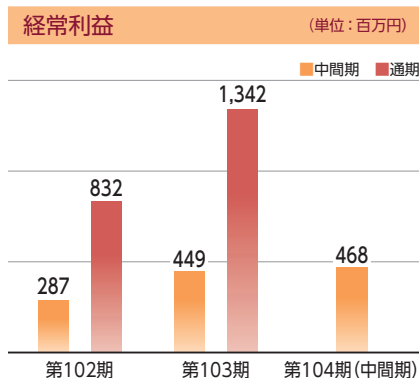
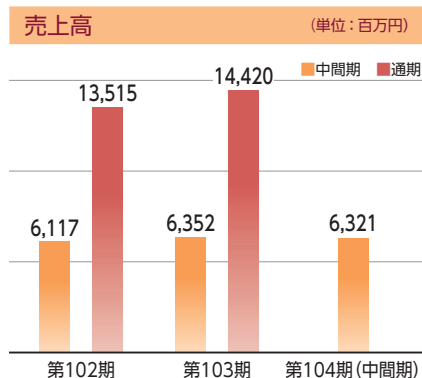
代表取締役社長 日野宏昭

中期経営計画「人財戦略・事業戦略 直面する社会や環境の様々な課題

当中間期(2025年4月1日～2025年9月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な設備投資等を背景に緩やかな回復の動きが見られる一方で、物価上昇の継続による個人消費の腰折れや工事の担い手不足による工事遅延、米中貿易摩擦に伴う世界経済の下振れリスク等の影響により、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような情勢の中で当社グループは、2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!」の最終年度として、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。

機器装置事業につきましては、空調機器は特にエアハンドリングユニットが旺盛な建設需要や既存設備の更新需要を



を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう！」のもと、 に尽力してまいります。

背景に大幅に伸長したものの、サーモデバイス機器は海外向け一部案件の下期出荷や利益率の高い小口案件の減少が影響し、当事業の売上高は34億6千5百万円(前年同期比1.4%増)となりました。

素形材加工事業につきましては、前期からの繰越工事が波及し、景観製品の売上が好調に推移したことなどにより、当事業の売上高は8億3千7百万円(前年同期比16.9%増)となりました。

サービスエンジニアリング事業につきましては、前期において大口の空調設備・給排水衛生設備工事案件があったことによる反動減により、当事業の売上高は20億1千8百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

その結果、当中間期における当社グループの売上高は63億2千1百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

損益面では、営業利益は3億3千万円(前年同期比17.2%減)、経常利益は4億6千8百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億8百万円(前年

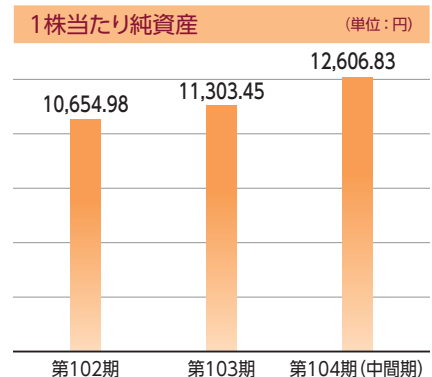
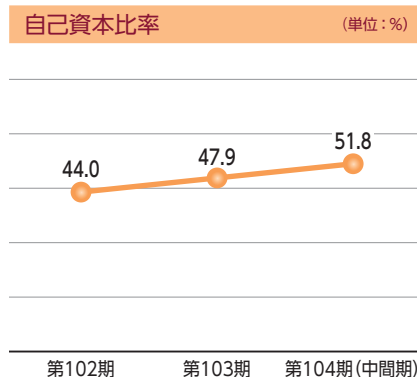
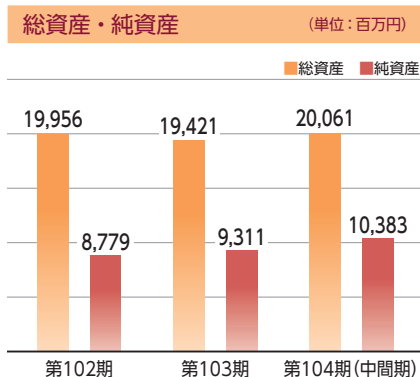
同期比13.4%増)となりました。

通期の見通しにつきましては、内需主導による経済活動や設備投資の増勢が期待される一方で、国内の深刻化する人手不足や物価の高止まり、米国の関税政策に伴う企業収益の悪化等により景気が下振れするリスクもあり、経営環境は予断を許さない状況が続くものと予想されます。

当社グループは、中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社會への一翼を担おう!」を締め括るべく、今期の業績計画達成に向け全力で取り組む所存でございます。

また、中間配当につきましては、今後の経営環境の見通しや内部留保の充実を勘案し、見送らせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



中間連結貸借対照表

科目	当中間期 2025年9月30日現在	前中間期 2024年9月30日現在	前期 2025年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	9,405	9,291	9,995
現金及び預金	3,263	3,286	3,383
受取手形、売掛金及び契約資産	1,703	2,108	2,762
電子記録債権	1,544	1,292	1,646
商品及び製品	683	574	298
仕掛品	1,537	1,334	1,223
原材料	650	606	655
その他	25	89	28
貸倒引当金	△3	△2	△4
固定資産	10,655	9,183	9,426
有形固定資産	3,769	3,576	3,777
建物及び構築物	949	939	940
機械装置及び運搬具	943	789	943
土地	1,584	1,584	1,584
リース資産	209	201	214
その他	83	62	94
無形固定資産	97	87	88
投資その他の資産	6,789	5,519	5,560
投資有価証券	6,433	5,311	5,215
繰延税金資産	2	2	2
その他	367	220	356
貸倒引当金	△13	△14	△14
① 資産合計	20,061	18,474	19,421

① 総資産

前期末に比べ6億3千9百万円増加し、200億6千1百万円となりました。主な要因は、商品及び製品3億8千5百万円、仕掛品3億1千3百万円、投資有価証券12億1千8百万円が増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産10億5千9百万円が減少したものです。

② 負債

前期末に比べ4億3千2百万円減少し、96億7千7百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金5千9百万円が増加した一方で、電子記録債務2億7千1百万円、未払法人税等8千2百万円が減少したものです。

③ 純資産

前期末に比べ10億7千1百万円増加し、103億8千3百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金8億5千9百万円が増加したものです。

科目	当中間期 2025年9月30日現在	前中間期 2024年9月30日現在	前期 2025年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	6,760	7,136	7,553
支払手形及び買掛金	947	689	887
電子記録債務	1,284	1,882	1,556
短期借入金	3,225	3,150	3,250
未払費用	618	584	688
未払法人税等	88	95	170
設備関係支払手形	29	106	270
契約負債	42	25	27
リース債務	46	41	45
その他	476	561	656
固定負債	2,916	2,967	2,556
長期借入金	—	175	25
長期預り保証金	313	313	313
退職給付に係る負債	1,172	1,387	1,181
繰延税金負債	1,338	981	925
リース債務	92	110	110
② 負債合計	9,677	10,103	10,109
(純資産の部)			
株主資本	6,513	5,529	6,304
資本金	1,641	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226	1,226
利益剰余金	3,778	2,793	3,568
自己株式	△131	△131	△131
その他の包括利益累計額	3,869	2,841	3,007
その他有価証券評価差額金	3,614	2,806	2,755
退職給付に係る調整累計額	254	35	251
③ 純資産合計	10,383	8,370	9,311
負債及び純資産合計	20,061	18,474	19,421

中間連結損益計算書

科目	当中間期 自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日	前中間期 自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日	前期 自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日
④ 売上高	6,321	6,352	14,420
売上原価	4,594	4,655	10,383
売上総利益	1,726	1,697	4,036
販売費及び一般管理費	1,396	1,298	2,830
⑤ 営業利益	330	399	1,205
営業外収益	167	106	194
営業外費用	30	56	58
⑤ 経常利益	468	449	1,342
税金等調整前 中間(当期)純利益	468	449	1,342
法人税、住民税及び事業税	106	67	290
法人税等調整額	52	109	3
中間(当期)純利益	308	272	1,047
⑤ 親会社株主に帰属する 中間(当期)純利益	308	272	1,047

④ 売上高

2023年度から2025年度までの3ヶ年における中期経営計画「人財戦略・事業戦略を一貫させた強い昭和鉄工で持続的社会への一翼を担おう!」の最終年度として、重点課題である「事業運営と管理運営の抜本的見直し(データドリブン経営)」及び「組織風土改革と自律人財の育成(人財第一主義経営)」並びに「ライフサイクル型事業の推進」及び「サステナブル新商品の創出」に取り組んでまいりました。その結果、当中間期における当社グループの売上高は63億2千1百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

⑤ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益

営業利益は3億3千万円(前年同期比17.2%減)、経常利益は4億6千8百万円(前年同期比4.2%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億8百万円(前年同期比13.4%増)となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当中間期 自 2025年4月 1日 至 2025年9月30日	前中間期 自 2024年4月 1日 至 2024年9月30日	前期 自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日
⑥ 営業活動による キャッシュ・フロー	475	517	889
投資活動による キャッシュ・フロー	△428	△286	△489
財務活動による キャッシュ・フロー	△167	△188	△260
現金及び現金同等物の 増減額	△120	42	139
現金及び現金同等物の 期首残高	3,383	3,243	3,243
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	3,263	3,286	3,383

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、獲得した資金は4億7千5百万円(前年同期は5億1千7百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前中間純利益4億6千8百万円及び売上債権の減少額11億6千1百万円による増加と、棚卸資産の増加額6億9千3百万円及び仕入債務の減少額2億1千1百万円による減少です。

新製品

ステンレス製プレート熱交換器を搭載した業務用エコキュート登場！

本製品は、2020年2月に販売を終了した「15kW業務用エコキュート(SRHK-15EH)」の後継機種として、従来機の性能を維持しつつ、より安心かつ快適な使用を目指して開発しました。その最大の特長は、水熱交換器にステンレス製のプレート熱交換器を採用した点にあります。一般的には熱伝導率の高い銅製熱交換器が使用されますが、本製品では耐食性に優れたステンレスを用いることで、水道水はもちろん井戸水など幅広い水質に対応可能です。また、独自設計の冷媒回路により、ステンレス採用に伴う熱伝導率の課題を克服し、冬期・着霜期にも十分な加熱能力を発揮します。

省エネ性と耐久性を両立させた業界トップクラスの付加価値が高いコンパクトな本製品をラインナップに加えることで、お客様のニーズにより一層お応えし、サステナブルな社会貢献に努めてまいります。

熱交換器が

ステンレスだから腐食に強い！

熱交換器が

ステンレスなのに高効率！

NEW
ステンレス製
プレート熱交換器搭載
15kW Heat Pump UnitSHOWA
業務用

エコキュート

ステンレス製プレート熱交換器搭載 SSHP-15A

(注)「エコキュート」は関西電力株式会社の登録商標で、「エコキュート」の名称は電力会社・販売メーカーが推奨する自然冷媒ヒートポンプ給湯機愛称です。

会社概要

商号	昭和鉄工株式会社 Showa Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
創業	1883年10月2日
設立	1933年4月30日
資本金	16億4,100万円
従業員数	392名 (連結396名)
主な事業内容	ファンコイルユニット・エアハンドリングユニット等の空調機器、業務用エコキュート・ボイラー・ヒーター・バーナー・オユシス等の熱源機器、循環温浴器・空気清浄機等の環境機器、液晶パネル製造用熱処理炉等のサーモデバイス機器、橋梁用防護柵等の景観製品、鋳造品等の製造販売のほか、空調機器、熱源機器等の一部販売・メンテナンス・取替工事及び給排水衛生設備等の設計・監理・施工の請負
主な事業所	
東京支社	神奈川県川崎市川崎区中島二丁目2番7号
工場	宇美工場(福岡県糟屋郡)、古賀工場(福岡県古賀市)、札幌工場(北海道石狩市)
支店	東北(北海道石狩市)、東京(川崎市)、大阪、九州(福岡県糟屋郡)
営業所	札幌(北海道石狩市)、仙台、北関東(さいたま市)、名古屋、広島、下関、南九州(熊本市)
関係会社	昭和トータルサービス株式会社

役員

取締役・監査役

代表取締役	日野 宏昭
取締役	尾島 孝則
取締役	執行 貴洋
取締役	上野 俊幸
取締役	佐藤 仁俊
常勤監査役	大島 正信
監査役	横田 浩二
監査役	本田 隆茂

執行役員

社長CEO	日野 宏昭
常務執行役員	尾島 孝則
上級執行役員	執行 貴洋
執行役員	名和 正之
執行役員	森 克郎
執行役員	都地 美生隆
執行役員	井上 晋輔

株式の状況

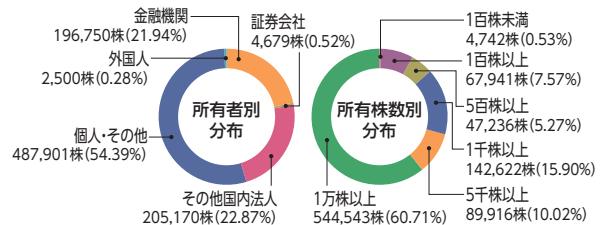
発行可能株式総数	2,400,000株
発行済株式の総数	897,000株
株主総数	791名

大株主

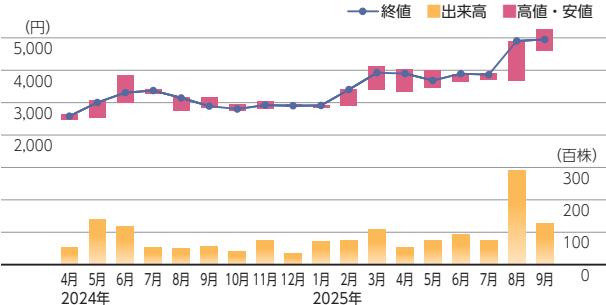
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社福岡銀行	38,650	4.69
株式会社西日本シティ銀行	38,500	4.67
株式会社北九州銀行	35,750	4.34
西部ガスホールディングス株式会社	34,500	4.18
西日本鉄道株式会社	29,100	3.53
飯田久泰	26,700	3.24
飯田卓子	24,531	2.97
飯田吉宣	22,518	2.73
渡邊秀一郎	22,200	2.69
稲田好美	19,813	2.40

(注)持株比率は、自己株式(73,344株)を控除して計算しております。

株式分布状況

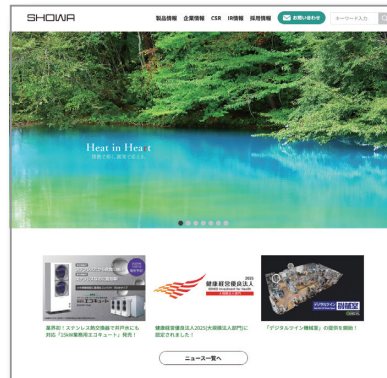


株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の基準日 毎年3月31日 剰余金の配当の基準日 毎年3月31日 中間配当の基準日 毎年9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (お問合せ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国 各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。 https://www.showa.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合は、日本経済新聞 に掲載して行います。
単元株式数	100株



ホームページもご覧ください。
<https://www.showa.co.jp/>

● 株主様へのご案内

住所変更、単元未満株式の買取・買増
等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払い配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。



〒811-2101 福岡県糟屋郡宇美町大字宇美3351番地8
TEL 092-933-6390 (代表)



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷しています。